



巨大「劇王だるま」

審査員と観客の投票で
『ハイスクール劇王』が決まる…。
※優秀作は新潟劇王への推薦あり！
5月にりゅうとびあで開催

を手にするのは?!

高校生が主役！20分の青春エンゲキ！
勝者を決めるのはあなた！

2026年3月22日(日)
12:45 開会 (12:15 開場)

白河文化交流館 コミネス 小ホール
(〒961-0075 福島県白河市会津町 1-17)

【チケット】一般・友の会 1,000 円
全席自由 U18(18 歳以下) 800 円

※未就学児のご入場はできません。
※障がいのある方はお問合せください。

【チケット取扱い】

コミネス窓口 10:00～18:30 (火休、3/2(月)点検休館)
電話予約 TEL 0248-23-5300
ネット予約 <http://cominess.jp/ticket>

「ハイスクール劇王」は、誰もが楽しめるエンターテインメント満載の舞台です。高校生たちが全力で演じる、熱いステージをぜひ会場でご体感ください！

【主催・お問合せ】

白河文化交流館 コミネス
(指定管理者 NPO 法人カルチャーネットワーク)
TEL 0248-23-5300 E-mail: jigyuu@cominess.jp

協力：しらかわ演劇塾、劇団ユニット・ラビッツ

後援：白河市、白河市教育委員会、(公財)白河観光物産協会、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしま FM、(一社)日本演出者協会、(一社)日本劇作家協会、福島県高等学校演劇連盟

チケット発売 2/4(水)10:00 ※電話予約は翌日 10:00 より

『ハイスクール劇王』上演の掟

一、上演時間 20 分以内のオリジナル作品

一、出演者 3 名以内（黒子含む）

一、照明と音響は出場団体の操作

一、3 分以内で転換できる舞台美術のみ使用可



ハイスクール劇王とは

日本劇作家協会東海支部発祥で各地区に派生し、「天下統一」と題した全国大会やアジア大会まで発展した短編演劇大会「劇王」の高校生版。高校生による主体的な創造活動の発展を理念に、劇作・演出・役者・舞台技術の全てを高校生が担うというルールで、福島県白河市では 2014 年から開催されている。審査員と観客の投票によって選ばれる「劇王」には白河市の伝統工芸品である〈白河だるま〉を巨大な劇王だるまとして贈られる。また最も優れた戯曲の作者には「戯曲賞」が、優れた役者には「俳優賞」が与えられる。



観客投票ルール

- ・すべての上演作品を観劇した方 ※途中入退場の方は投票権利なし
- ・観客 1 人につき 2 団体に投票

第 11 回ハイスクール劇王出場 5 作品決定 !!

『きみのたより』 作：田母神寧々（安積黎明高校▶福島県）

1



拝啓 寒い冬もようやく終わりが見えてきました。ところで、文通ってロマンがあって素敵ですね。とある女子高生 3 人は、怪しい文通相手を探っているらしいです。青春ってもはやロマンなのかも。

敬具

『ロリンコサムサム』 作：平岡蒼衣（日本体育大学柏高校▶千葉県）

4



客席を石像に見立てた舞台演出と、調査隊と王との会話のテンポが物語を前へ進める。後半、呪文によって空気が一変し、「友達」という主題が不気味に浮かび上がる展開が見所です。

『双子日和』 作：池田萌衣（岡山学芸館高校▶岡山県）

2



『双子のよいところは話し相手がいいこと』（by 作者の双子の姉）らしいです。私も同意見です。この作品にもよくしゃべる双子が出てきます。姉妹なのに同い年。へんてこりんな関係性に注目して観てください！

『おわりのあと』 作：南愛香（岡山学芸館高校▶岡山県）

5



人は死んだら、どこに行くのだろうか。何が起るのだろうか。そんな事を考えた時がありました。想像を膨らませた結果、この物語が出来ました。真っ白で何も無い部屋に来た 2 人の会話を聞いてあげてください。

『ホウヒデン』 作：石場穂乃歌（精華高校▶大阪府）

3



頭空っぽにして楽しめる、テンポの良いおバカな会話と二人の間に流れる微笑ましい空気をお楽しみください。

・一次審査 (R7. 11/20～11/30)

審査員：ハイスクール劇王運営委員ほか

・二次審査 (R7. 12/10～12/26)

審査員：佃典彦（劇作家、演出家、俳優 / 劇団 B 級遊撃隊）

鹿目由紀（劇作家、演出家 / 劇団あおきりみかん）

審査員



佃 典彦

劇作家、演出家、俳優。劇団 B 級遊撃隊主宰。締切をしっかりと守ることから「名古屋のミラーマン」の異名を持つ。〈受賞歴〉第 3 回名古屋文化振興賞。第 4 回読売演劇大賞優秀作品賞。第 50 回岸田國士戯曲賞。



三浦 佑介

演出家、作家、俳優。劇団あサルとピストル主宰。東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校講師。代表取締役を務める株式会社 kotosakA では、起業家向けにビジネスピッチの指導、演出や、研修なども行なっている。



小林 七緒

演出家・俳優、流山児★事務所所属。日本演出者協会副理事長。主に人材育成事業を担当している。新国立劇場演劇研修所、同バレエ研修所講師。